

## 古川地区高等学校 演劇祭

## 宮城県合唱祭

### 「宮城県合唱祭に出演して」

今年の合唱祭では、古川高校創立120周年（昨年度）にあたり、本校の伝統ある応援歌を紹介しました。1年次に味わう厳しい応援練習の様子をステージ上で再現するため、部員は中学校の制服、はちまき、裸足で発表に挑みました。県内の合唱団体に所属しているOBの方々も飛び入りで参加いただき、凱歌をはじめとする4曲を合唱し、審査員特別賞を受賞しました。ステージ上で一緒に歌っていただいたOBの皆様に感謝申し上げます。

合唱部部長 3年 佐藤 優衣（古川北中出身）



今回の合同公演は「露と消えても～幕末 刃風伝～」という新撰組をモデルにした舞台に挑戦しました。この舞台は殺陣があり、経験者が誰もいない中での挑戦で、とても大変でした。また稽古に全員揃うことが少なく、通し稽古があまり出来ないまま本番を迎えましたが、キャスト・スタッフ全員が集中し、全力で演じて、無事に合同公演を終えることができました。大好きな仲間と最高の舞台を作れて良かったです。有難うございました。

3年 齋藤 美琴（小野田中出身）

### 1学年 船形山登山

### 2年生 被災地訪問古高祭で発表



#### 「船形登山を終えて」

私たち1年生は5月に船形山登山に行ってきました。登山をする中で船形山の自然に触れ、改めてふるさとの山河の素晴らしさを感じることができました。私たちが登ったコースは、険しい道でしたが友達と協力して楽しく登山をすることができました。またゴールに着いた時にはきれいな景色を眺めることもできました。友達との絆を深めることができた船形山登山は、私たちにとってとても思い出深いものとなりました。

1年 高橋 涼人（岩出山中出身）

「命を救うのは分厚いマニュアルではなく、判断と行動力だ」この言葉は旧大川小学校を私たちが訪問した際、遺族の方が話してくださった言葉です。この言葉には強い悲哀の念が込められているように感じました。避難できずに波にのまれた子ども達や教員の思いまで流れ込んでくるような悲しみに満ちた声でした。本来なら思い出すのも辛い記憶であるので、それを何年間もずっと人々に伝えてきたのですから、驚きというほかありません。改めて当時のお話を、当事者から直接聞くことで、この悲劇を悲劇のままで終わらせる訳にはいかないと改めて思わされた時間でした。

私たちにはこの教訓を次世代に伝え続ける必要があります。それこそが、これから未来を拓いていく私たちにしかできないことであると、この研修を通して学ぶことができました。

2年 平澤 凜（築館中出身）



### 第51回定期演奏会

#### 「定期演奏会を終えて」

5月20日に行われた第51回定期演奏会では、たくさんの方々にご来場いただきました。今年は「心響輝音」をテーマに、心に響く音楽を届けようと部員一丸となって準備・練習に取り組み、演奏会を成功させることができました。また、演奏会を通してたくさんの方々を支えられていることを改めて実感しました。これからもお力添えいただいているの方々への感謝の気持ちを忘れずに精進していきます。ありがとうございました。

吹奏楽部 3年 鈴木 美羽（古川中出身）



# ソフトボール部東北大会優勝



インターハイ出場を目標に臨んだ県総体の決勝で白石工業高と対戦しました。なかなか自分たちに試合の流れを持ってこれず、最終回に追い上げを見せたものの敗れ、インターハイ出場はなりませんでしたが、その後の東北大会では、テストもある中での練習ではありましたが、優勝という形で終わることができました。3年生はこれで引退となります。ソフトボール部として活動した経験を糧にこれからの受験勉強に励んでいきたいと思ひます。

3年 高橋 真弘 (田尻中出身)

## 山岳部男子県総体第3位



### 「更なる高みへ」

6月に行われた県総体で、私達は三位入賞を果たし好成績を残した。三日間連続で登山することは、精神的にも体力的にも辛かったが、私達には目標となる先輩達がいた。昨年度山岳部は県総体で優勝し、インターハイに出場している。私達はその後を追うべく努力を重ねた。周りにはほぼ3年生だったが私達は自分の力が通用すると信じ戦った。今年は優勝できなかったが、私達には来年がある。私達は必ず先輩を超えてみせる。

2年 小野寺 新之介 (涌谷中出身)

## 男子ソフトテニス団体 東北大会出場

### 「苦しみの果てにみんなで掴んだ東北大会出場」

東北大会出場までは決して平らな道のりではなかった。それまでの大会で結果を残せず、部長として責任を感じる苦しい1年だった。あと一步。何が足りない。それを補うためにミーティングで意見を出し合い、改善点と練習メニューを皆で考えた。それらの努力の結果、ついに地区総体で小牛田農林を倒して団体優勝。肩の荷が降りた、そんな気持ちだった。県総体では、東北大会出場決定戦で仙台三高と対戦。新人戦で負けた相手ではあったが、臆することは無かった。ここで勝つために今まで練習してきた。絶対に勝つ。チーム全体がそんな雰囲気、結果はチームカウント2-0で古高の勝利。みんなで掴んだ勝利は格別だった。ここまでたくさんの方々を支えていただいた。この場を借りて御礼申し上げたい。

3年 竹形 紀音 (古川中出身)



## 陸上部東北大会出場



### 「インターハイに向けて」 (400m 400mH)

私にとって今回のインターハイが最初で最後になります。全国には私より速い人が何十人もいて、決勝に行くためには今の自己ベストより1秒以上縮めないといけません。しかし、三年間の集大成として自分の最大の走りをし、目標である全国入賞を果たしてきたいと思ひます。また、遠藤先生をはじめとし、家族や友達に感謝の気持ちを忘れず、賞状を持って笑顔で宮城に帰ってこられるよう、全力で戦ってくるので応援よろしくお願ひします。

3年 奥山 小冬 (中新田中出身)

### 「東北大会を終えて」 (400mH)

今回の東北大会では、三年間の集大成であり、最後の大会ということで、2年生の時とは違う緊張感で挑みました。県大会では自分の満足いく結果が出ず、このまま東北大会を向かえていいのかという不安と焦りがありましたが、今までの練習と先生のアドバイスを信じて落ち着いてレースに集中することができました。結果は目標にしていた65秒台を出し自己ベストで終わることができました。顧問の遠藤直樹先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

3年 山城 美羽 (古川東中出身)

## 剣道部男子個人東北大会出場

### 「感謝」

たくさんの方々の献身的なご支援のもと、自分の実力を遺憾なく発揮し、このような結果を残すことができました。これまで熱い御指導をしてくださった顧問の先生方、共に闘ってきた仲間たち、支えてくださった保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず、今回得た貴重な経験を糧に、今後も精進していきたいと思ひます。後輩たちは更に上を目指してぜひ頑張ってください。

3年 千葉 彬生 (不動堂中出身)

